

映画で学ぶ 情報を見極める力 / 第8回

『監視資本主義：デジタル社会がもたらす光と影』授業ガイド

SNSのしくみを知る —— 「しくみを知れば、使い方を選べる。」

教員用・指導資料（対象：中学生以上）

📖 本資料はAI（Claude / Anthropic）で作成しています。授業でのご利用前に事実関係をご確認ください。専門家の監修ではありません。授業での使用可否・場面の選択・学年の適否は、担当の先生が最終判断してください。

1 授業の概要

テーマ	SNSのしくみを知る（広告モデル・注意を引く設計・アルゴリズムによる情報のかたより）
教材作品	『監視資本主義：デジタル社会がもたらす光と影』（原題 The Social Dilemma／2020年・アメリカ／監督：ジェフ・オーロースキー／Netflix配信のドキュメンタリー）
対象	中学生以上。暴力的な描写はほとんどないが、若者の心の健康に関する話題にふれる
時間	標準100分（50分×2）。作品は94分。全編視聴も可能な長さ
中心概念	広告モデル／「やめられない」設計（通知・無限スクロール・いいね・おすすめ）／アルゴリズムと情報のかたより／作品への批判
ねらい	SNSが時間と注意を集めるしくみを理解し、自分で使い方を選ぶための具体的な行動を考える
準備物	生徒用ワークシート（別PDF）／各自のスクリーンタイム（任意・見せなくてよい）／筆記用具

2 内容への配慮（必ずお読みください）

⚠️ 配信作品・心の健康の話題の扱い

Netflixで配信されているドキュメンタリーです。暴力的な描写はほとんどありませんが、**若者の心の健康に関する話題**（自己肯定感の低下など）にふれる部分があります。

- 授業での利用は、**配信サービスの利用規約**や教育機関向けの権利処理を確認のうえ判断する。
- 企業側の反論など、**作品への批判もあわせて紹介**し、一方的な見方にならないようにする。
- スクリーンタイムなど個人の利用状況は、**発表させない・見せ合わせない**。
- SNSに悩みを抱える生徒がいる可能性に配慮し、**相談できる場所**（スクールカウンセラー等）を伝える。

📄 レイティング・著作権について

- 配信作品のため、年齢表示は視聴時に配信サービス上でご確認ください。
- 授業での上映には教育機関向けの権利処理が必要になる場合があります。本教材の文章はすべてオリジナルで、ポスター・場面写真は使用していません。

3 SNSのビジネスモデル（予備知識）

無料のSNSはどうやってお金をかせぐ？

多くのSNSの主な収入は、画面に表示される広告です。利用者が長く使えば使うほど多くの広告を見せることができ、何を
見て何に「いいね」をしたかという行動のデータから、その人が興味を持ちそうなものを予測します。

「監視資本主義」とは

人々の行動データを集めて分析し、利益につなげる経済のしくみを、研究者ショシャナ・ズボフは「監視資本主義」と名づ
けました。邦題はこの言葉からとられています。作品には、GoogleやFacebookなどで働いていた人たちが登場し、自分た
ちが設計したしくみについて語ります。

💡 この作品への批判も扱う

Facebook（現Meta）は、この作品が問題を単純化しすぎているという趣旨の反論を公表しました。また、家族のドラ
マ部分は大げさに描かれている、という指摘もあります。ドキュメンタリーも「作り手の視点」でまとめられた作品で
す。特集で学んだ「4つの問い」を、この作品自体にも当てはめさせてください。

「やめられない」しくみ（板書用）（板書用）

通知

赤いマークや通知音が「今すぐ見なきゃ」を引き出す。

無限スクロール

終わりがないので、区切りをつけにくい。

「いいね」

反応が気になり、何度も確かめてしまう。

おすすめ

好みに合ったものが、次々と表示される。

🎯 この授業の到達目標

SNSが時間と注意を集めるしくみを説明でき、作品への批判もふまえたうえで、自分で使い方を选ぶための具体的な行
動を挙げられる。

4 100分授業の流れ（50分×2）

時間	ながれ	先生の動き・発問
0-10分	導入	「無料のSNSは、どうやってお金をかせいでいる？」と問う。
10-48分	作品を観る①	前半（広告モデル、「作った人たち」の証言）。メモを取りながら。
50-72分	作品を観る②	後半（情報のかたより、ドラマ部分）。または厳選クリップ。
72-80分	批判を知る	企業側の反論やドラマ部分への指摘を紹介し、「4つの問い」を作品に当てはめる。
80-92分	ワーク記入	「やめられない」しくみと、今日からできることを考える。
92-100分	共有・まとめ	特集全体をふり返り、板書「しくみを知れば、使い方を选べる。」で締める。

🌱 まとめ

SNSを「やめられない」のは、自分の意志が弱いからだけではなく、長く使わせるように設計されているからでもあり
ます。しくみを知れば、使い方を自分で選べます。特集の最終回として、これまでの8本——証言、メディア、写真、報
道、脚色、主張、SNS——をふり返り、「うのみにしない。でも、何も信じないでもない」姿勢を確認してください。

5 映画の背景知識

原題／邦題	The Social Dilemma／監視資本主義：デジタル社会がもたらす光と影
製作年・国	2020年・アメリカ。94分。Netflixで配信
監督	ジェフ・オーロースキー
受賞	エミー賞 ノンフィクション番組の脚本賞・編集賞
構成	元IT企業の社員や研究者へのインタビューと、スマホに夢中になる家族のドラマ部分が交互に進む

主なキャストと役柄

- トリストラン・ハリス：元Googleのデザイン倫理担当者。テクノロジーを人間にとってよりよいものにするをめざす団体「センター・フォー・ヒューメイン・テクノロジー」を共同で立ち上げた。
- GoogleやFacebookなどの元社員・研究者たち：自分たちが設計したしくみについて語る。

📱 今日からできること

①本当に必要な通知以外はオフにする、②スクリーンタイムを確認し使う時間や場所を決める、③自分と違う立場の情報源も意識して見る、④強い感情がわいた投稿ほどシェアする前に確かめる——作品から導ける具体的な行動です。

※上記の事実は公開情報（映画.com、Wikipedia（英語版）等）をもとにしています。細部・脚色には諸説あるため、授業前に必要に応じてご確認ください。

6 発問例・見取りのポイント

Q. 無料のSNSで、「商品」になっているのは何だろう？

→ 広告モデルと行動データのしくみを整理させる。

Q. 「やめられない」のは、自分の意志が弱いから？

→ 設計の工夫（通知・無限スクロールなど）に気づかせ、自分を責めない視点を持たせる。

Q. この作品自体を「4つの問い」で見ると、どうなる？

→ 作り手の視点、企業の反論、ドラマ部分の演出など。特集全体のまとめにつなげる。

ワークシートの見取り（評価の観点）

- SNSが時間と注意を集めるしくみを、具体的に説明できているか。
- 作品への批判もふまえ、一方的な見方にならずに考えられているか。
- 自分で実践できる具体的な使い方の工夫を挙げられているか。
- 個人の利用状況は発表させず、書いた内容を尊重する。

7 シリーズ全体像

回	映画	テーマ	目安
1	羅生門	証言はなぜ食い違うのか	中学生～
2	市民ケーン	メディアを持つ者の力	中学生～
3	父親たちの星条旗	一枚の写真がつくる「物語」	中学生～
4	スポットライト 世紀のスcoop	一次情報と裏づけ	高校生～
5	アルゴ	実話映画の脚色	中学生～
6	JFK	事実と主張を見分ける	高校生～
7	ソーシャル・ネットワーク	プライバシーと同意	高校生～
8	監視資本主義：デジタル社会がもたらす光と影	SNSのしくみを知る	中学生～

8 参考資料（主な出典）

監視資本主義 デジタル社会がもたらす光と影 作品情報（映画.com） <https://eiga.com/>

Wikipedia 「The Social Dilemma」（英語） https://en.wikipedia.org/wiki/The_Social_Dilemma

作品：映画『監視資本主義：デジタル社会がもたらす光と影』（2020年、監督ジェフ・オーロースキー）

© 2026 FilmEdu AI / 本資料はAIを活用して作成しています。授業でのご利用前に事実関係をご確認ください。専門家による監修ではありません。授業での使用可否・場面選択・学年の適否は担当教員の判断によります。作品の著作権は各権利者に帰属します。授業での上映には適切な権利処理（教育機関向けライセンス等）が必要になる場合があります。内容の誤りにお気づきの際はお問い合わせよりご連絡ください。